

12月の野菜の見通し

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
はくさい	14,086	100	14,502	36	111	40	-	0.0	茨城産中心で全体の9割以上を占める。茨城は10月の天候が安定していたため、肥大状況は良好で4玉中心の入荷となる。前年より気温の低下が早く、消費拡大が期待される。全体の入荷量は前年並み、価格は前年をかなり上回る見込み。
だいこん	12,402	105	13,136	59	93	59	5	0.0	神奈川、千葉、徳島産中心で全体の約9割を占める。神奈川、千葉とも生育・肥大は良好で、2Lサイズ中心の出荷となる。入荷のピークは12月中旬頃で、年末まで潤沢な入荷となる。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。
キャベツ類	12,857	100	13,047	78	77	77	-	0.0	愛知、千葉、神奈川産中心の入荷で全体の約9割を占める。愛知は生育、肥大とも順調で、例年よりも6玉比率が高くなる。千葉も生育順調で、11月下旬～12月上旬にピークとなり、年末まで潤沢な入荷が続く。全体の入荷量は前年並み、価格は前年を大幅に下回る見込み。
ねぎ	6,656	97	6,458	189	127	230	175	2.6	千葉、茨城、埼玉、群馬、栃木産中心の入荷となる。各産地とも夏季の高温・干ばつと秋の曇天等で生育が10日程度遅れている。また、一般的に細物の割合が多く、2Lサイズ以上の比率が低い。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。
きゅうり	4,341	103	4,780	520	77	416	-	0.0	宮崎、千葉、高知、埼玉産中心の入荷となる。宮崎、高知は初期生育が順調で、12月も引き続き順調な入荷となる。千葉は前年より出荷ペースが遅れており、12月10日過ぎからピークとなる。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は高値の前年を大幅に下回るものの前年並みの見込み。
トマト	4,315	105	4,742	494	75	402	-	0.0	熊本、愛知、千葉、静岡産中心の入荷となる。熊本はLサイズ中心で玉伸びも良好。愛知は概ね生育順調で、入荷量は前年を上回る。千葉は気温低下による着色遅れが見られるものの、着果は良好で入荷量は前年並みとなる。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は高値の前年を大幅に下回る見込み。
ほうれんそう	1,555	105	1,906	414	101	378	-	0.0	群馬、埼玉、千葉、茨城産中心の入荷となる。群馬は急な気温の低下により生育が遅くなっており、12月は入荷量の大きな増減がなく、ダラダラとした出荷となる。埼玉も群馬と同様な展開の見込み。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並みの見込み。